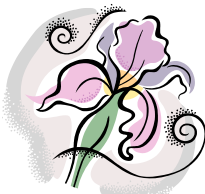


6月
水無月



歩 歩

第 164 号
2018年6月1日発行

NPO 法人
福井県ウオーキング協会
〒910-0006
福井市中央1丁目9-29
エコライフプラザ3F
Tel.0776-28-6980 FAX0770-45-0676
Mail fukui-walking@cube.ocn.ne.jp
HP <http://fukui-walking.sakura.ne.jp>

(6月例会の案内)

林道探検ウオーク

開催日 6月17日(日)

集合場所・時間 JR越美北線小和清水駅 9時40分
(福井駅発:9時8分の電車が便利)

解散場所・時間 JR越美北線牛ヶ原駅 15時00分
(牛ヶ原駅発:15時14分の電車が便利)

距離 16Km

(コース途中にトンネルがありますので、懐中電灯があると安全です。)

コース=JR小和清水駅⇒リズムの森⇒JR牛ヶ原駅

福井ふるさと百景=42番

見どころ=リズムの森はキャンプ場やアスレチックなどがあり、大自然に親しみながら楽しく遊べる広場です。



(7月例会の案内) 事前申し込み

もう一度日本の滝百選 龍双ヶ滝

開催日 7月8日(日)

集合場所・時間 JR福井駅東 8時00分
(バスの出発:8時30分)

解散場所・時間 JR福井駅東 16時頃
(龍双ヶ滝出発:14時30分)

距離 12Km



コース=福井駅東口~宝慶寺いこいの森⇒碑田峠⇒耳岩菩薩⇒碑田の里公園(昼食)
⇒龍双ヶ滝⇒旧池田町千代谷支所~福井駅東口

福井ふるさと百景=43番

見どころ=龍双ヶ滝の落差は約60メートルあり、平成2年に「日本の滝100選」の一つとして指定されました。近辺は緑の美しい山峡で、特に下を走る県道から見上げる滝の姿は壮観の一言に尽きます。この滝にはその昔ここに龍双という僧が住み、神仏像を彫刻して一念行願をしたという伝説と、深い滝壺に住む龍が昇天のために時おり滝上りをしたという伝説があります

申込み:6月24日(日)までに、同封の振込用紙またはゆうちょ銀行の下記口座へ、通信欄に下記必要事項を記入の上、バス代¥2000円/1人を振り込んで下さい。

口座記号番号：00740-4-19057

加入者名：特定非営利活動法人福井県ウォーキング協会

通信欄：会員番号及び氏名(会員以外の方は氏名のみ)、電話番号(中止の際の連絡先)を記入

4月のウォーキング記録

行事名：平泉寺とゆめおーれ勝山を訪ねて
開催日：平成30年4月28日(土)
天候：晴れ
参加者：37名
コース：えち鉄勝山駅⇒平泉寺⇒ゆめおーれ勝山(昼食)⇒えち鉄勝山駅

五月晴れの中、越前鉄道勝山駅を出発する。勝山橋を渡る途中、右手にたくさんの鯉のぼりが九頭竜川に気持ちよく泳いでいる。右に曲がり、半月前なら桜も満開だろう弁天河原をしばらく歩く。そして、川沿いの土手道を歩き、泰澄大師の母の墓所(御廟)に着く。地区の人達が清掃活動されていた。頭が下がる思いだ。



勝山城博物館に着き、トイレ休憩。ソフトクリームを食べる人も何人か居られた。さて、いよいよ平泉寺入口菩提林に着き、日本の道100選の標識確認。ここより、勾配がきつくなる。まほろばまで1400m頑張って歩こう。まほろばに着き、しばらく休憩し、精進坂、御手洗池、拝殿、本社、三の宮そして、南谷発掘地と見て歩きまほろば着。いつもながら、Aさんの豊富な知識に驚くばかりです。まほろばにて昼食。



午後より、ゆめおーれ勝山へ行き、暫く見学し、花月楼へ。2階の天井絵が素晴らしいそうだ。今回は見れなくて残念。七里壁、大清水と歩き勝山駅に予定通り無事ゴールする。

行って来ました「飯田やまびこマーチ」

H・Hさん記

4月28日(土)・29日(日)、春爛漫の南信州伊那盆地飯田市で開催された「第32回飯田やまびこマーチ」に行ってきました。

「花と緑と陽光(ひかり)の中を、手づくりのおむすびを持って家族と歩こう」のテーマ・コンセプトのもと、豊かな自然と山、里、街の多様な景観、地域の特徴を活かした、両日で13のコースが設定されており、さぞかし参加されたウォーカーは、どのコースを歩こうかと迷ったのではと想われます。

加えて好天が後押ししてくれ、更に地元の方たちによる、豚汁、煮物、漬物、リンゴ(ミニリンゴも食べました)、冷たいお茶等のおもてなしと、たわいのない短い会話に疲れも癒されました。1日目は「天竜川舟下り特別コース(21kmのウォーキングと途中の舟下り)」に、ウォーキングの中で時に、非日常を体験したいとの思いから当コースを選択参加しました。



飯田市域天竜川の鷺流峡(ガリュウキョウ)の約6km、時間にして約20分超の舟下りで、雪解け水で水量豊富な砂州後の合流部ではマイナスイオンたっぷりの水しぶきを浴び、また船頭さんの投げるエサを求めて川面に向かってくる鷺に感嘆するあっという間の舟旅でした。

下船後の2kmにわたる天竜峡さくら街道も満開の頃、花を愛でながらのウォーキングは絵になるのではと想いながら歩いていました。



2日目は「りんごの花の絨毯を堪能する田園地帯を巡るコース(30km)」に参加しました。

途中、月夜平から臨む、このコースのメインポイント(勝手に思っています)、仙丈ヶ岳、北岳をはじめとする幾重にも連なる南アルプスの眺望に足を止めて、山並みをなぞっていました。山あいの土地であり、所どころ起伏に富んだコースではありましたが、顔見知りのウォーカー

との言葉のやり取りで疲れをまぎらし、時にカメラ撮影をして無事フィニッシュしました。フィニッシュ後は、干し切った身体への水分補給をし、糖分補給のため、飯田市の名産でもある和菓子、大きんつば(小きんつばという一口サイズのきんつばもありました)と、冷やしきんつばを食して、帰途に着きました。

「第27回 若狭・三方五湖ツーデーマーチ」が開催される

5月18日(金) せっかくウォーク「小浜国宝と史跡めぐり」

5月19日(土) 日本遺産「鯖街道 熊川宿」コース

5月20日(日) ラムサール条約登録「三方五湖」コースで開催されました。

晴れるのは勿論良いけれど、雨も良いもんです、ここ若狭路では。歴史を積み重ね27回目となる若狭・三方五湖ツーデーマーチが、青葉映える若狭さとうみパークを主会場に開催されました。





前日夜半から降り出した雨は、土曜日の朝にはあがる予報でしたが、開会式の時点でも霧雨が降り続き、おまけに気温が前日比マイナス15℃の肌寒い一日でした。

ウォーキング途中で何人かの方と話しましたが天気のおかげも今一、しかし休憩所の方々の温かいおもてなしのおかげで冷えた体と心は温まり、後半にはあちこちで会話が飛び交っていました。

翌日は雨もあがりスカッとした五月晴れ。担当の方の努力で会場のぬかるみも修復され、皆さん意気揚々と出発されました。湖面や海面に青空と白い雲が良く映えて、“気持ちいい”の声があちこちで聞こえました。天候不順で参加人数が少し減ってしまい残念ですが、皆に愛される大会を末永く続けていきたいと思えます。

協会からのお知らせ

1. 『会員を増やそう！！』

「ウォーキングはみんなと歩けば もっと楽しい！」

お友達やご近所の方に声をかけて会員を増やしましょう

歩く仲間を一人でも増やすことが県協会の健全な運営に必要です。

口コミでも仲間を増やそう。

2. 総会に出席できなかった方々に、総会結果を同封しました。

今年度も協会運営にご協力ください。

ウォーキングマナー5カ条

- 一. やあ！お早う 明るいあいさつ さわやかに
- 二. 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕
- 三. ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- 四. 自分のゴミ、自分の責任持ち帰り
- 五. 歩かせて、いただく土地に感謝して

ウォーク短歌
霧の中息せき登る愛宕坂
マイナスイオンにパワーをもらう
坦々と歩いた先に永平寺
山門越えて気持ち入れ替える

